

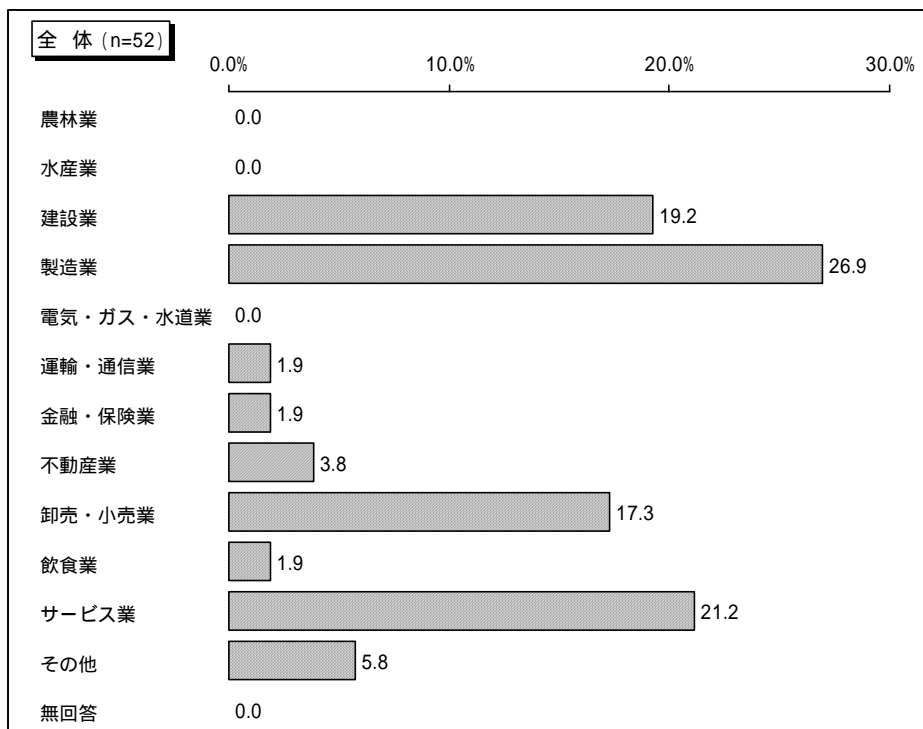
事業所アンケート 調査結果

1.はじめに、貴事業所の概要についておたずねします。

あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

問1 貴事業所の業種を教えてください。(業種が複数にわたる場合は、主な業種としてください)

1. 農林業	2. 水産業	3. 建設業
4. 製造業	5. 電気・ガス・水道業	6. 運輸・通信業
7. 金融・保険業	8. 不動産業	9. 卸売・小売業
10. 飲食業	11. サービス業	
12. その他()		

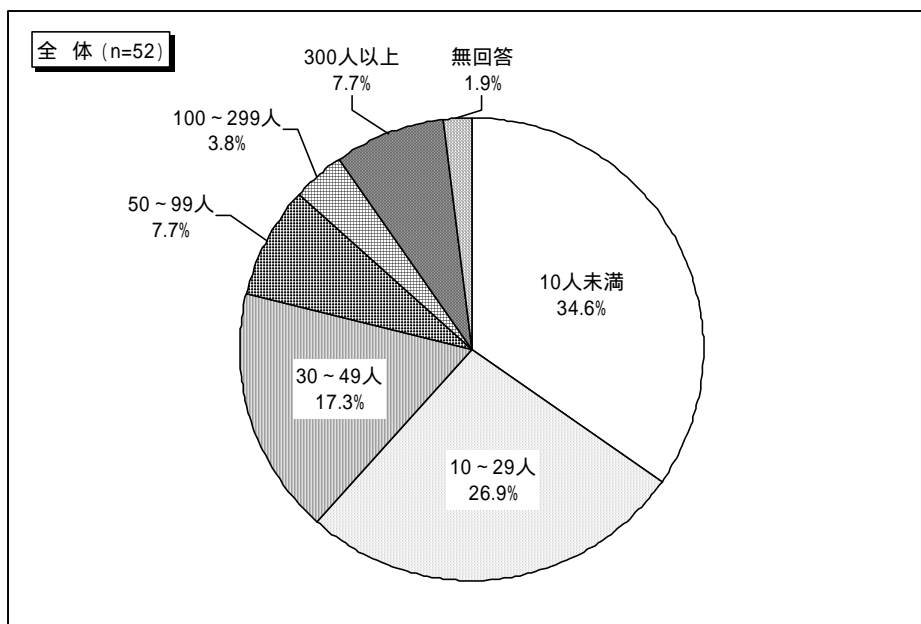


業種については、「製造業」との回答が 26.9%と最も高く、次いで、「サービス業」(21.2%)、「建設業」(19.2%)となっています。

問2 貴事業所の市内における従業員数（パートやアルバイト等を含む）を教えてください。

（平成18年6月末現在）

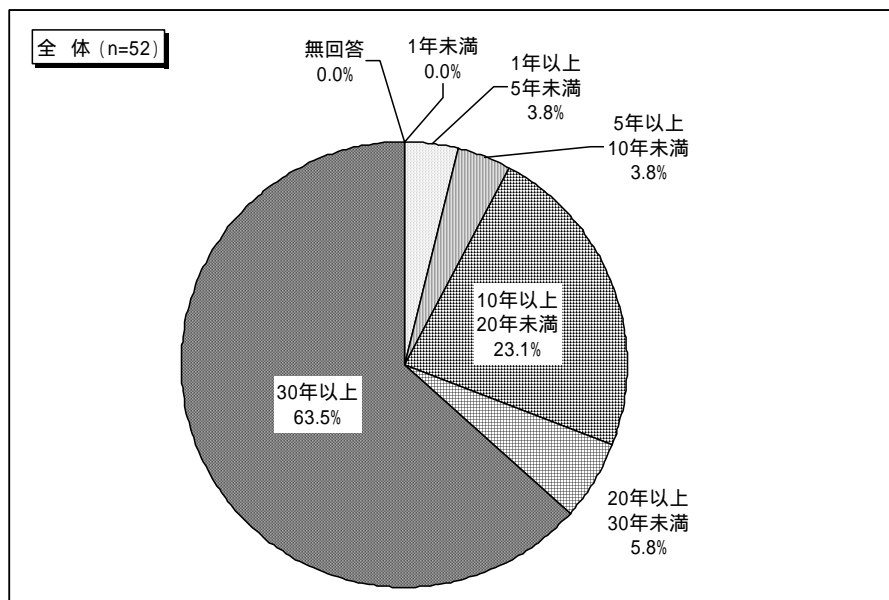
1. 10人未満	2. 10～29人	3. 30～49人
4. 50～99人	5. 100～299人	6. 300人以上



従業員数については、「10人未満」との回答が34.6%と最も高く、次いで「10～29人」（26.9%）、「30～49人」（17.3%）との回答が高くなっており、回答を得た事業所の中では、比較的小規模の事業所が大半を占めています。

問3 貴事業所の市内における事業（操業）年数を教えてください。

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1 . 1年未満 | 2 . 1年以上5年未満 | 3 . 5年以上10年未満 |
| 4 . 10年以上20年未満 | 5 . 20年以上30年未満 | 6 . 30年以上 |

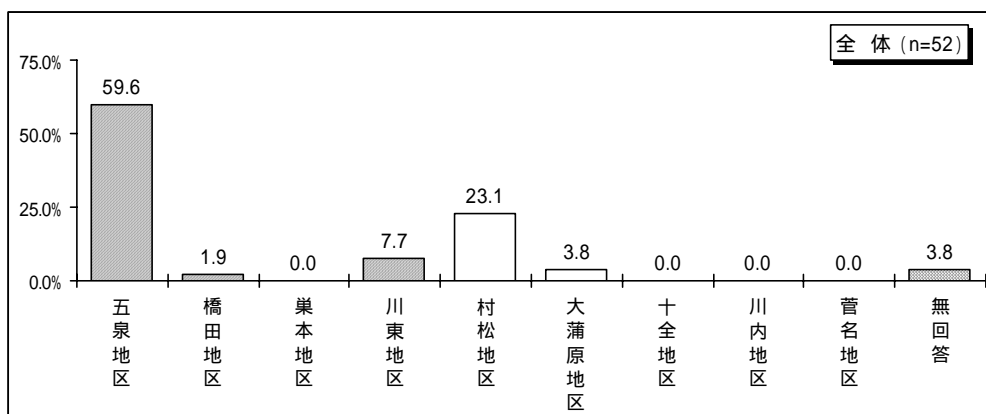


事業（操業）年数については、「30年以上」（63.5%）、「10年以上20年未満」（23.1%）の順で高くなっています。

30年以上操業を続けていることは昭和40年代以前の創業に相当し、本市の繊維産業（絹織物、ニット業）を中心とする軽工業が活況を呈していた時期にあたります。

問4 市内における貴事業所の所在地を教えてください。(所在地が複数の地区にわたる場合は、主な事業所の所在地としてください)

(旧五泉市)	(旧村松町)
1. 五泉地区	5. 村松地区
2. 橋田地区	6. 大蒲原地区
3. 巢本地区	7. 十全地区
4. 川東地区	8. 川内地区
	9. 菅名地区



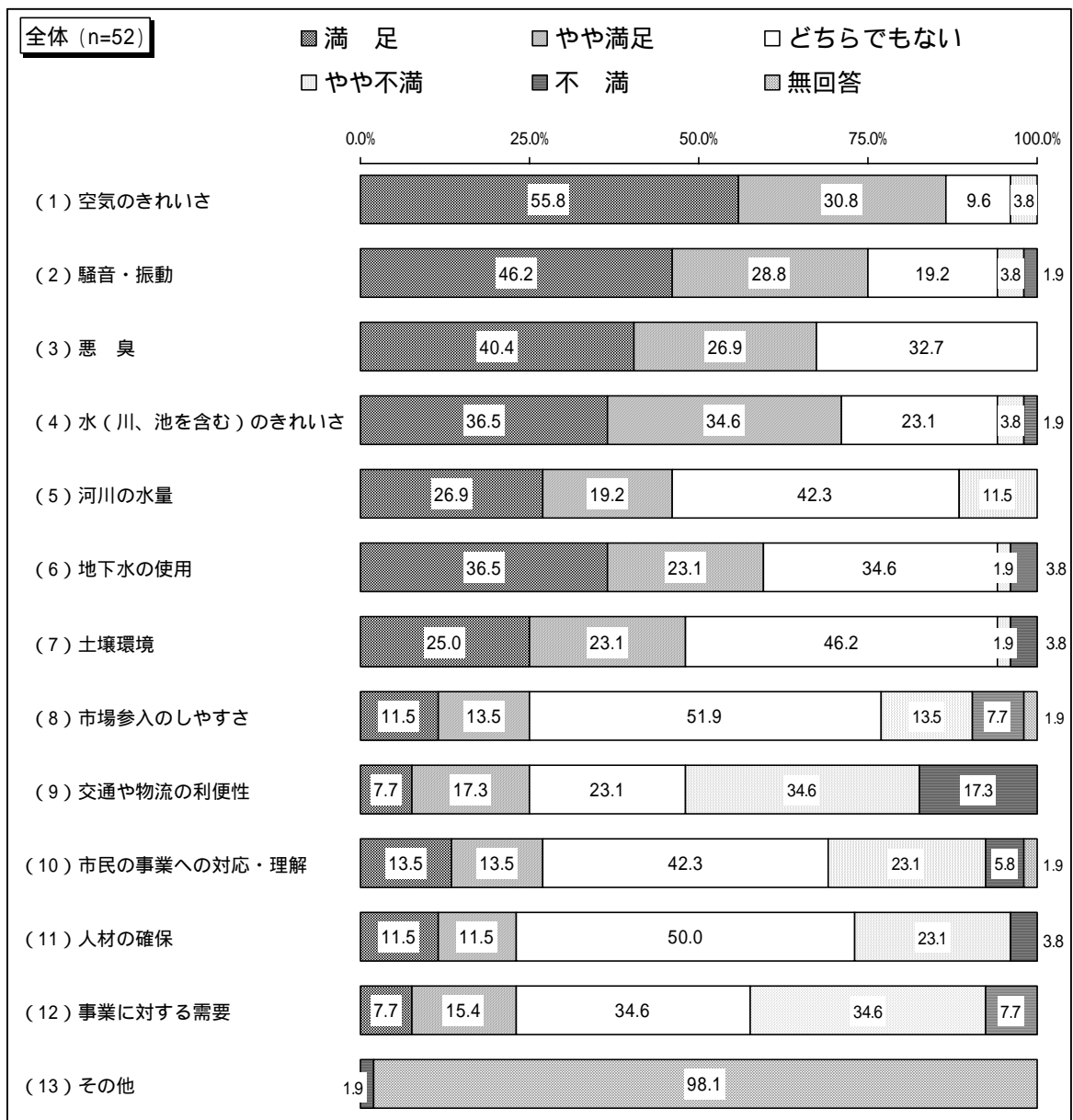
所在地については、「五泉地区」が 59.6%と最も多く、次いで「村松地区」が 23.1%となっており、この2地区で大半を占めています。

2. 貴事業所からみた五泉市の環境についておたずねします。

問5 貴事業所が五泉市で事業を行う際に、以下の事業環境の状況についてどのような評価をなされていますか。下記のそれぞれの項目について該当する欄に をつけてください。

各環境の状況に対する評価は、例えば、事業所に関わる騒音の規制が厳しいので「不満」といった法的な規制の状況ではなく、実際に事業活動を行う際の事業所を取り巻く環境を対象として、例えば空気がきれいだから「満足」や地下水が豊富なので「満足」といったように判断してください。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
(1) 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
(2) 騒音・振動	1	2	3	4	5
(3) 悪臭	1	2	3	4	5
(4) 水(川、池を含む)のきれいさ	1	2	3	4	5
(5) 河川の水量	1	2	3	4	5
(6) 地下水の使用	1	2	3	4	5
(7) 土壌環境	1	2	3	4	5
(8) 市場参入のしやすさ	1	2	3	4	5
(9) 交通や物流の利便性	1	2	3	4	5
(10) 市民の事業への対応・理解	1	2	3	4	5
(11) 人材の確保	1	2	3	4	5
(12) 事業に対する需要	1	2	3	4	5
(13) その他()	1	2	3	4	5



最初に、ここでは(1)～(13)の各項目に関して、(1)「空気のきれいさ」～(7)「土壌環境」についてはまとめて「周辺環境」、(8)「市場参入のしやすさ」～(12)「事業に対する需要」についてはまとめて「事業環境」とします。

事業環境の評価について、回答全体では「満足」、「やや満足」の合計に関して「空気のきれいさ」が86.6%と最も多く、次いで「騒音・振動」(75.0%)、「水(川、池を含む)のきれいさ」(71.1%)の順となっています。一方、「不満」、「やや不満」の合計に関して「交通や物流の利便性」が51.9%と最も多く、次いで「事業に対する需要」(42.3%)、「市民の事業への対応・理解」(28.9%)の順となっています。

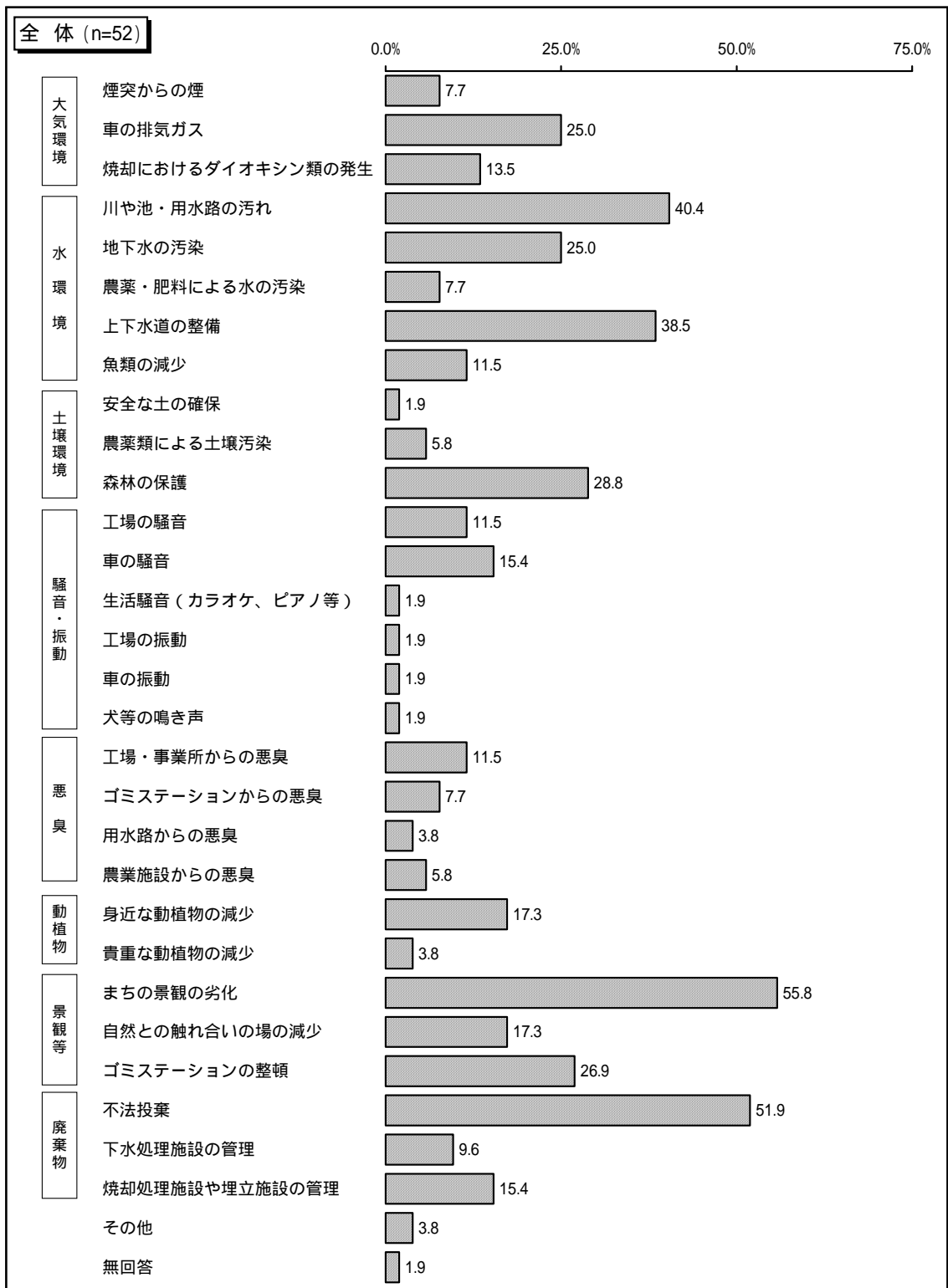
全体的には、周辺環境に対する満足度が高く、事業関連についての不満度が高くなっています。「地下水の使用」について59.6%と半数を越える高い満足度の回答があったことは、事業活動における地下水の果たす役割が大きいことがうかがえます。

地区別では、旧村松町で、周辺環境のうち「空気のきれいさ」と「水（川、池を含む）のきれいさ」に対する満足度が高くなっている一方、事業環境のうち「市場参入のしやすさ」についての不満度が高くなっています。

3. 環境問題についておたずねします。

問6 現在、貴事業所が特に関心を持っている身近な（事業所周辺または五泉市内）環境問題を、下記の1～30の中から5つ選び、該当する番号に をつけてください。

大気環境	1. 煙突からの煙 2. 車の排気ガス	3. 焼却におけるダイオキシン類の発生
水環境	4. 川や池・用水路の汚れ 5. 地下水の汚染 6. 農薬・肥料による水の汚染	7. 上下水道の整備 8. 魚類の減少
土壌環境	9. 安全な土の確保 10. 農薬類による土壌汚染	11. 森林の保護
騒音・振動	12. 工場の騒音 13. 車の騒音 14. 生活騒音（カラオケ、ピアノ等）	15. 工場の振動 16. 車の振動 17. 犬等の鳴き声
悪臭	18. 工場・事業所からの悪臭 19. ゴミステーションからの悪臭	20. 用水路からの悪臭 21. 農業施設からの悪臭
動植物	22. 身近な動植物の減少	23. 貴重な動植物の減少
景観等	24. まちの景観の劣化 25. 自然との触れ合いの場の減少	26. ゴミステーションの整頓
廃棄物	27. 不法投棄 28. 下水処理施設の管理	29. 焼却処理施設や埋立施設の管理
その他	30, その他 ()	

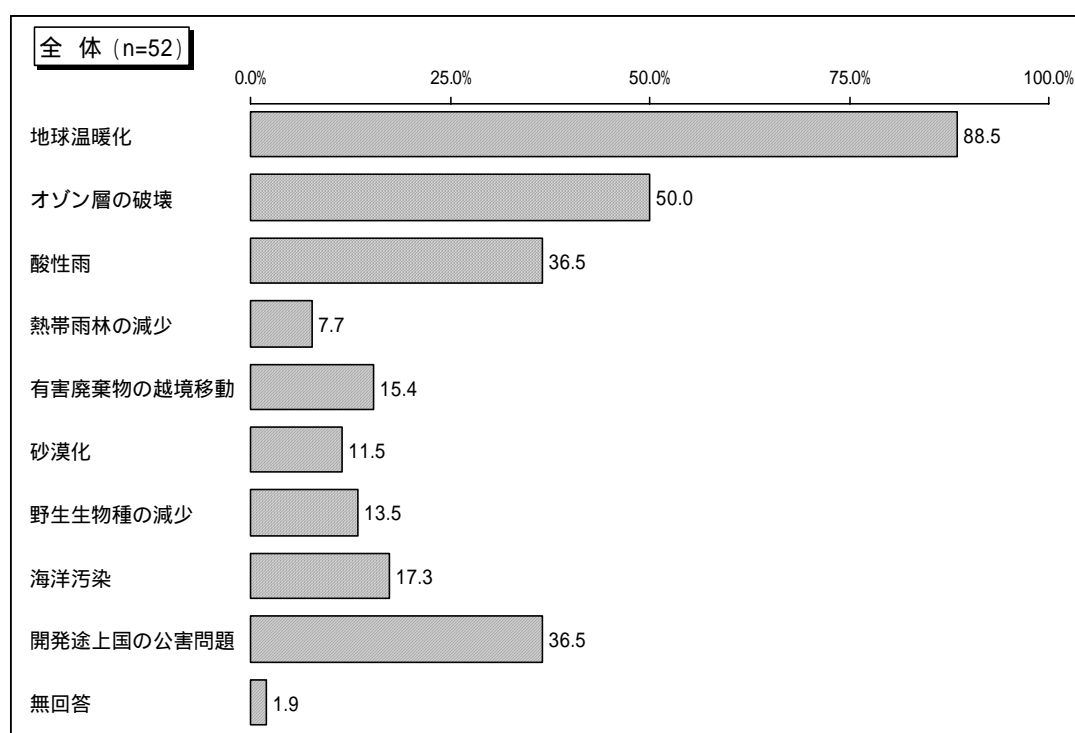


特に関心を持っている身近な（事業所周辺または五泉市内）環境問題について、回答全体では「まちの景観の劣化」が 55.8%と最も高く、次いで、「不法投棄」（51.9%）となっています。

地区別では、旧村松町では「上下水道の整備」に関心が高く、旧五泉市では「まちの景観の劣化」への関心が高くなっています。この点は、五泉市街地において、大型店舗の廃屋をはじめとした中心市街地の雑然とした景観が目につくためと考えられます。「不法投棄」については、地区にかかわらず本市の最も大きな問題点であるといえます。

問7 貴事業所が事業を行う上で特に関心を持っている地球環境問題を、下記の1～9の中から**3つ選び**、該当する番号に をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|---------|
| 1 . 地球温暖化 | 2 . オゾン層の破壊 | 3 . 酸性雨 |
| 4 . 熱帯雨林の減少 | 5 . 有害廃棄物の越境移動 | 6 . 砂漠化 |
| 7 . 野生生物種の減少 | 8 . 海洋汚染 | |
| 9 . 開発途上国の公害問題 | | |

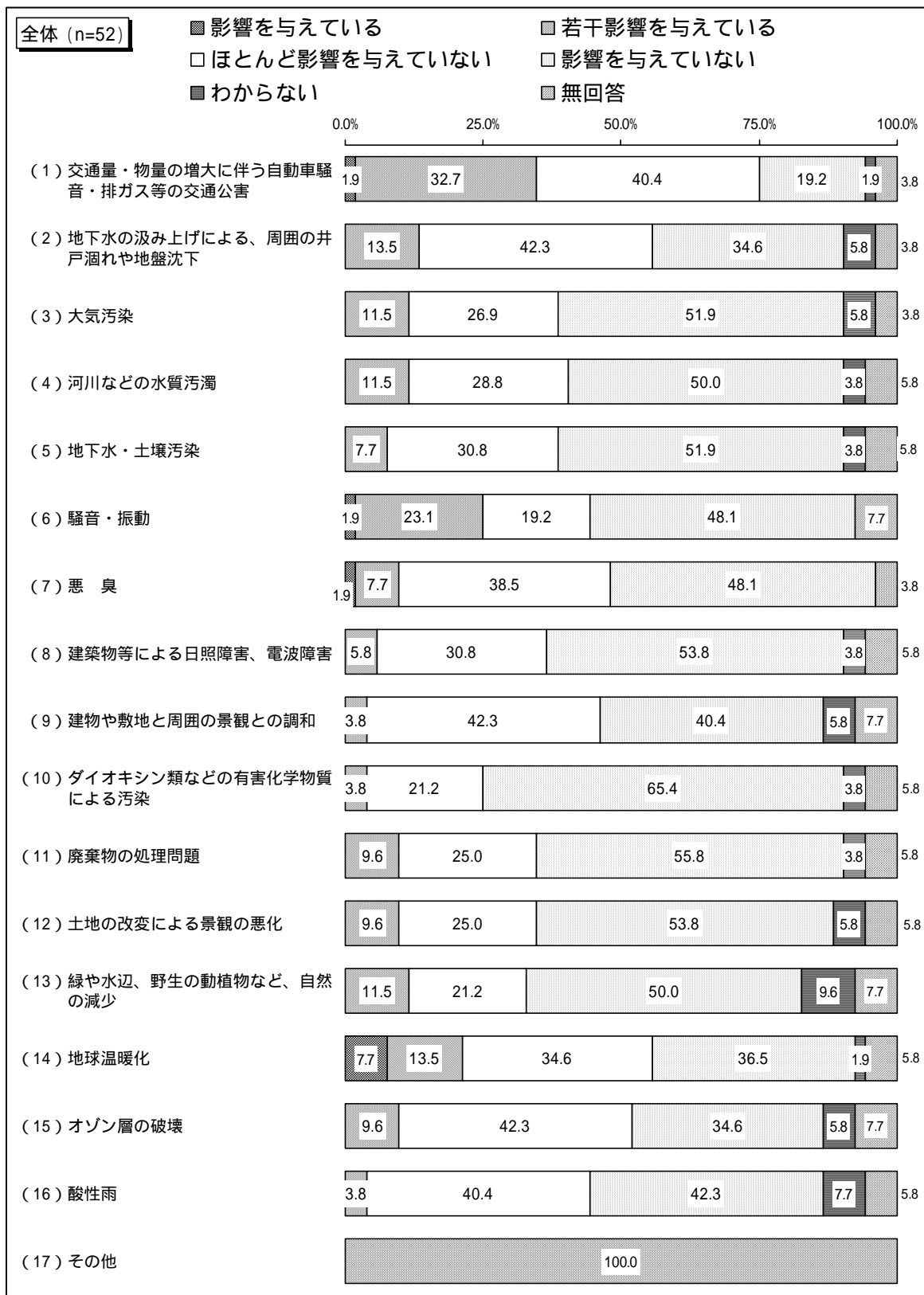


特に関心を持っている地球環境問題について、回答全体では「地球温暖化」との回答が88.5%と最も高く、次いで、「オゾン層の破壊」の50.0%、「酸性雨」「開発途上国公害問題」の36.5%となっています。

地球規模で問題となっている地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨などに関心が高いのは、事業活動に伴って生じる環境負荷が公害や環境問題に関連する可能性が高いことの認識によるものと推測されます。

問 8 貴事業所の活動は、地域や地球全体の環境にどの程度の影響を与えていると思いますか。以下のそれぞれの項目に沿って、あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

	影響を与えている	若干影響を与えている	ない	ほとんど影響を与えていない	影響を与えていない	わからない
(1) 交通量・物量の増大に伴う自動車騒音・排ガス等の交通公害	1	2	3	4	5	
(2) 地下水の汲み上げによる、周囲の井戸涸れや地盤沈下	1	2	3	4	5	
(3) 大気汚染	1	2	3	4	5	
(4) 河川などの水質汚濁	1	2	3	4	5	
(5) 地下水・土壌汚染	1	2	3	4	5	
(6) 騒音・振動	1	2	3	4	5	
(7) 悪臭	1	2	3	4	5	
(8) 建築物等による日照障害、電波障害	1	2	3	4	5	
(9) 建物や敷地と周囲の景観との調和	1	2	3	4	5	
(10)ダイオキシン類などの有害化学物質による汚染	1	2	3	4	5	
(11)廃棄物の処理問題	1	2	3	4	5	
(12)土地の改変による景観の悪化	1	2	3	4	5	
(13)緑や水辺、野生の動植物など、自然の減少	1	2	3	4	5	
(14)地球温暖化	1	2	3	4	5	
(15)オゾン層の破壊	1	2	3	4	5	
(16)酸性雨	1	2	3	4	5	
(17)その他 ()	1	2	3	4	5	



事業所の活動に伴う地域や地球全体の環境への影響について、回答全体では「影響を与えている」と「若干影響を与えている」との合計が「交通量・物量の増大に伴う自動車騒音・排ガス等の交通公害」(34.6%)、「騒音・振動」(25.0%)、「地球温暖化」(21.2%)の順で多くなっています。また、全体的に、「ほとんど影響を与えていない」、「影響を与えていない」との回答が多くを占めていることから、環境への直接的な影響が少ない業種もしくは、何らかの対策を行っている事業所が多いと考えられます。

地区別では、旧村松町で「交通量・物量の増大に伴う自動車騒音・排ガス等の交通公害」について「影響を与えている」、「若干影響を与えている」との合計が若干多くなっています。

問9 貴事業所では、環境保全のためにどのような取組を実施していますか。また、今後実施しようと考えているものはどのような取組ですか。以下のそれぞれの項目に沿って、あてはまるものを1つ選んで、 をつけてください。

	既に実施している	今後実施していきたい	実施の予定はない	現在、検討中である	当事業所には関係ない
1 公害防止対策					
(1) ばい煙や粉じんなど大気汚染対策	1	2	3	4	5
(2) 水質汚濁対策	1	2	3	4	5
(3) 土壌・地下水汚染対策	1	2	3	4	5
(4) 騒音・振動対策	1	2	3	4	5
(5) 悪臭対策	1	2	3	4	5
2 省エネルギー対策					
(1) 冷暖房の温度設定や電灯の消灯などの省エネルギー	1	2	3	4	5
(2) 電化製品などの省エネルギー型機器への切り替え	1	2	3	4	5
(3) 自然光などを活用した建築物	1	2	3	4	5
(4) 風力・太陽光発電など自然エネルギー利用	1	2	3	4	5
(5) <u>コージェネレーションシステム</u> の導入など、 エネルギーの高効率利用	1	2	3	4	5
(6) <u>低公害車</u> の導入	1	2	3	4	5
(7) 自動車の使用自粛(公共交通機関の利用など)	1	2	3	4	5
(8) <u>アイドリングストップ</u> などのエコドライブの実施	1	2	3	4	5
(9) <u>ノー残業デー</u> の実施	1	2	3	4	5
(10) 水の節約	1	2	3	4	5
(11) 雨水浸透施設や雨水貯留施設の導入	1	2	3	4	5

コージェネレーションシステム

発電と同時に発生した排熱も利用して、給湯・暖房などを行うエネルギー供給システム。

低公害車

排ガス中の汚染物質の量や燃料消費量が少ない電気・メタノール・天然ガス・ハイブリッド自動車などを指します。

アイドリングストップ

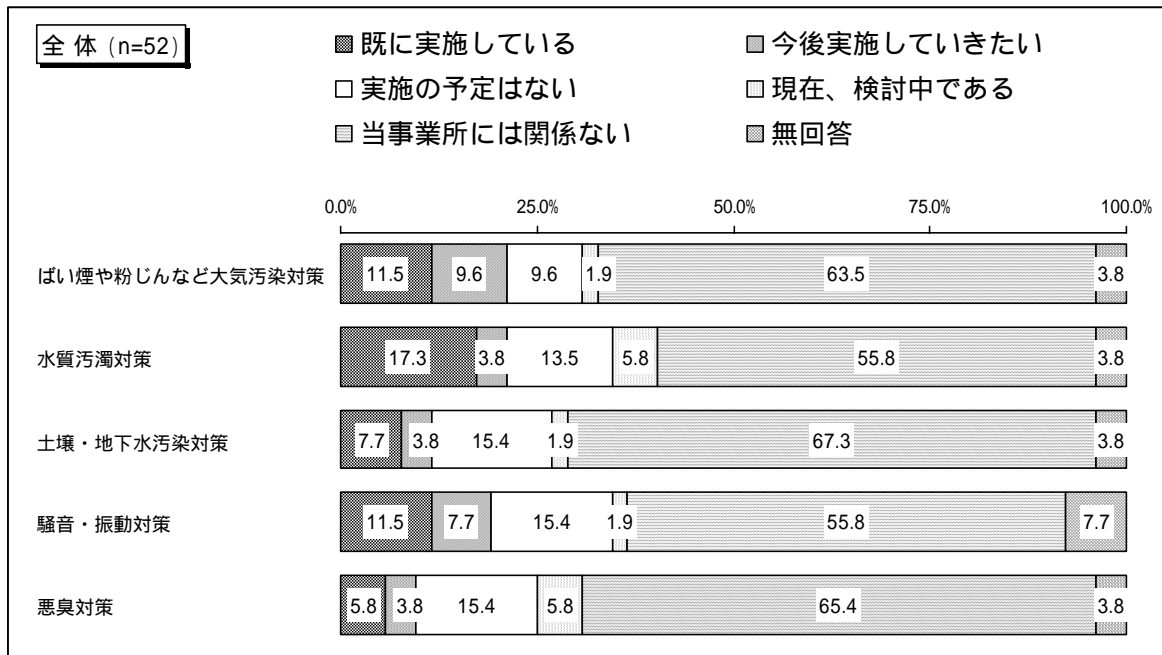
自動車が走行していないときにエンジンを停止して二酸化炭素及び窒素酸化物の排出量や燃料の消費量を抑制し、省エネルギーなどに努めることを言います。10 分間アイドリングストップを行うと、乗用車でガソリン140cc の節約になると言われています。

	既に実施している	今後実施していきたい	実施の予定はない	現在、検討中である	当事業所には関係ない
3 廃棄物対策					
(1) 廃棄物のリサイクル	1	2	3	4	5
(2) 自社で取り扱っている商品や容器などの回収・リサイクル	1	2	3	4	5
(3) 省エネルギー・リサイクル可能な製品の製造や販売	1	2	3	4	5
(4) リサイクル文具など環境配慮型製品の購入 (<u>グリーン購入</u>)	1	2	3	4	5
(5) 使い捨て製品の使用・購入の抑制	1	2	3	4	5
(6) 過剰包装の自粛	1	2	3	4	5
4 その他					
(1) フロンや有害化学物質の使用抑制	1	2	3	4	5
(2) 事務所や周辺の緑化	1	2	3	4	5
(3) 社員に対する環境保全に関する教育の実施	1	2	3	4	5
(4) 地域の環境保全活動への参加、協力	1	2	3	4	5
(5) 環境基金への寄付など、地域の環境保全活動への資金協力	1	2	3	4	5
(6) 事業活動における環境関連情報の、消費者や地域などに対する公開、提供	1	2	3	4	5
(7) 取引先への環境配慮の指導	1	2	3	4	5

グリーン購入

市場に供給される製品・サービスの中から、環境への負荷が少ないものを優先的に購入することを言います。

(1) 公害防止対策

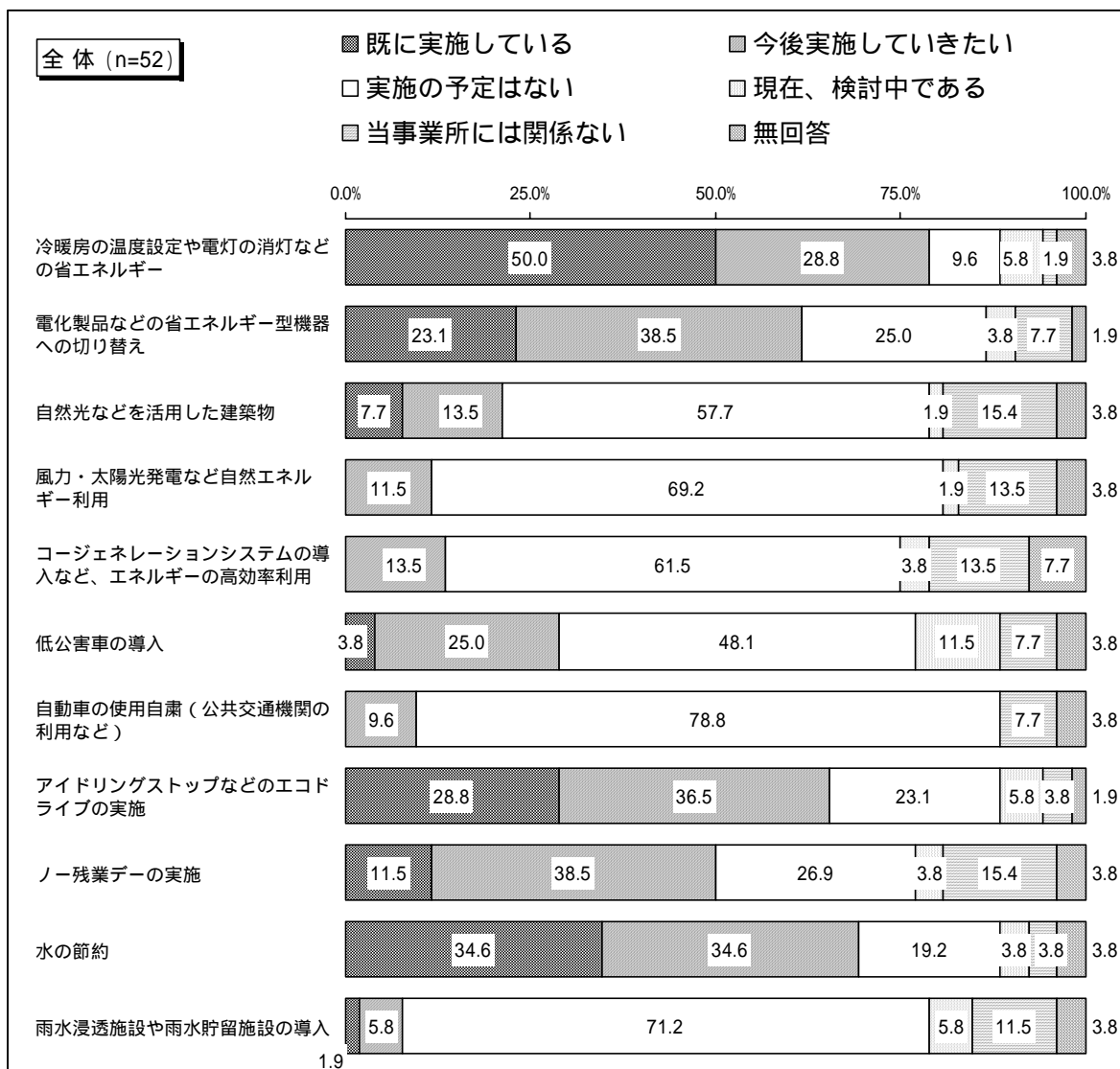


公害防止対策について、回答全体では「既に実施している」との回答が、「水質汚濁対策」で17.3%と最も多く、次いで、「ばい煙や粉じんなどの大気汚染対策」(11.5%)、「騒音・振動対策」(11.5%)となっています。

設問の全項目において、「当事業所には関係ない」との回答が過半数の高い割合を示していることから、今回回答をお寄せ頂いた事業所においては、公害が発生する規模の環境への直接的な影響が少ないことが推察されます。しかし、公害は蔓延すると甚大な被害を及ぼす可能性があるため、未然防止の対策や日々の監視などは重要な責務であると言えるでしょう。また、環境への影響が懸念される場合は、対策を実施済、もしくは実施予定と回答しています。

地区別では、旧五泉市で「水質汚濁対策」に関して「既に実施している」との回答が若干多く、旧村松町では「騒音・振動対策」について「既に実施している」との回答が若干多くなっています。

(2) 省エネルギー対策



省エネルギー対策について、回答全体では「既に実施している」との回答が、「冷暖房の温度設定や電灯の消灯などの省エネルギー」で50.0%と最も多く、次いで、「水の節約」(34.6%)、「アイドリングストップなどのエコドライブの実施」(28.8%)、「電化製品などの省エネルギー型機器への切り替え」(23.1%)の順となっています。

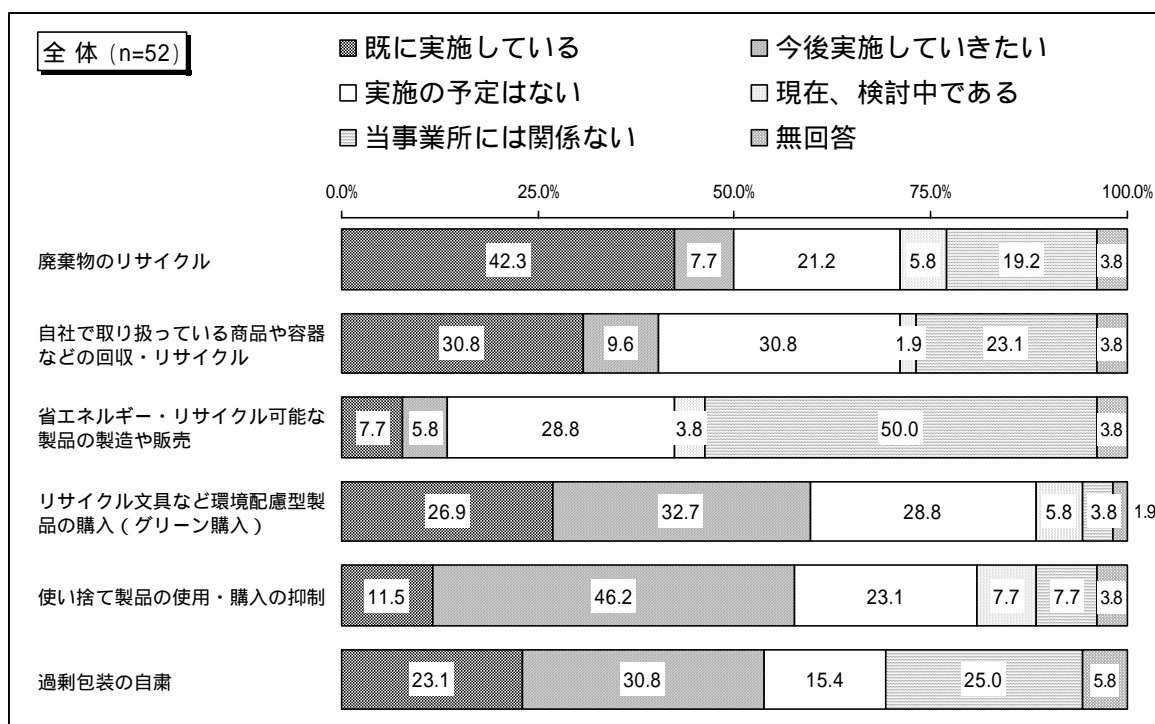
全体的な傾向として、経費節減を兼ねた省エネルギー対策や水の節水などの取組は積極的に実施している様子が見られますが、設備投資の伴う対策については「実施の予定はない」との回答が多くなっています。

地区別では、旧村松町で「ノー残業デーの実施」に関して「既に実施している」との回答が若干多くなっており、普及啓発活動が進んでいることが推察されます。また、旧五泉

市で「低公害車の導入」、「自動車の使用自粛（公共交通機関の利用など）」、「アイドリングストップなどのエコドライブの実施」について「実施の予定はない」との回答が多くなっており、これらの取組の推進が求められます。

さらに、旧村松町で「冷暖房の温度設定や電灯の消灯などの省エネルギー」について「実施の予定はない」との回答が若干多くなっています。

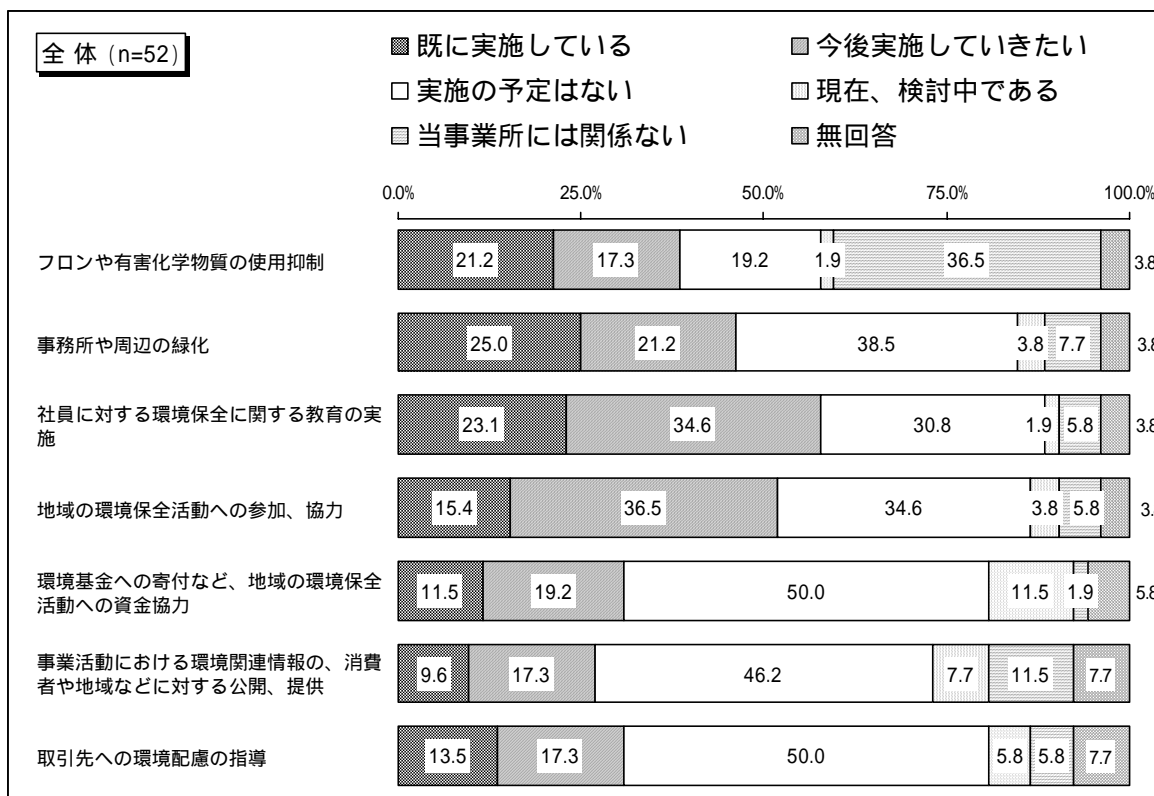
(3) 廃棄物対策



廃棄物対策について、回答全体では「既の実施している」との回答に関して、「廃棄物のリサイクル」が42.3%と最も多く、次いで、「自社で取り扱っている商品や容器などの回収・リサイクル」(30.8%)、「リサイクル文具などの環境配慮型製品の購入」(26.9%)、「過剰包装の自粛」(23.1%)の順となっています。

また、グリーン購入や使い捨て製品・過剰包装を減らす試みなどに約半数の事業所が積極的に取り組む姿勢を示しています。

(4) その他



環境保全全般の取組について、回答全体では「既に実施している」との回答が、「事業所や周辺の緑化」が25.0%と最も多く、次いで、「社員に対する環境保全に関する教育の実施」(23.1%)、「フロンや有害物質の使用抑制」(21.2%)となっています。

このように、事業所内での取組や地域活動への協力など身近で実行できる活動については、既に実施しているか今後実施する意向が高く示されていますが、資金協力や情報公開・提供に関しては「検討中である」という回答が多く、慎重な姿勢が見られます。

地区別に見た場合、五泉市では「フロンガスや有害物質の使用抑制」について「既に実施している」あるいは「今後実施していきたい」との回答が若干多く、「社員に対する環境保全に関する教育の実施」については、「実施の予定はない」との回答が多くなっています。また、「事業活動における環境関連情報の消費者や地域などに対する公開、提供」について「今後実施していきたい」との回答が若干多くなっています。

これに対して、旧村松町では「フロンガスや有害物質の使用抑制」や「事業活動における環境関連情報の消費者や地域などに対する公開、提供」について「実施の予定はない」との回答が若干多くなっています。

4. 貴事業所の環境保全のための取組について、おたずねします。

問 10 貴事業所では、環境に配慮した経営手法を用いていますか。以下のそれぞれの項目に沿って、あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

	既に実施している	今後実施していきたい	実施の予定はない	現在、検討中である	どのようなものか知らない
(1) <u>ISO14001</u> の認証取得	1	2	3	4	5
(2) <u>環境活動評価プログラム(エコアクション21)</u> の参加	1	2	3	4	5
(3) <u>KES・環境マネジメントシステム・スタンダード</u> の認証取得	1	2	3	4	5
(4) その他の環境マネジメントシステム認証制度への登録	1	2	3	4	5
(5) <u>環境報告書</u> の作成	1	2	3	4	5
(6) <u>環境会計</u> の導入	1	2	3	4	5

ISO14001

産業活動等に伴う環境負荷を軽減するために、事業所を単位として、環境に関する方針や目標の作成、その具体化のための組織や責任、プロセスなどの基準を定めた国際規格。

環境活動評価プログラム(エコアクション21)

ISO14001 に対し比較的容易に取り組むことのできる中小事業所向けの認証・登録制度。

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード

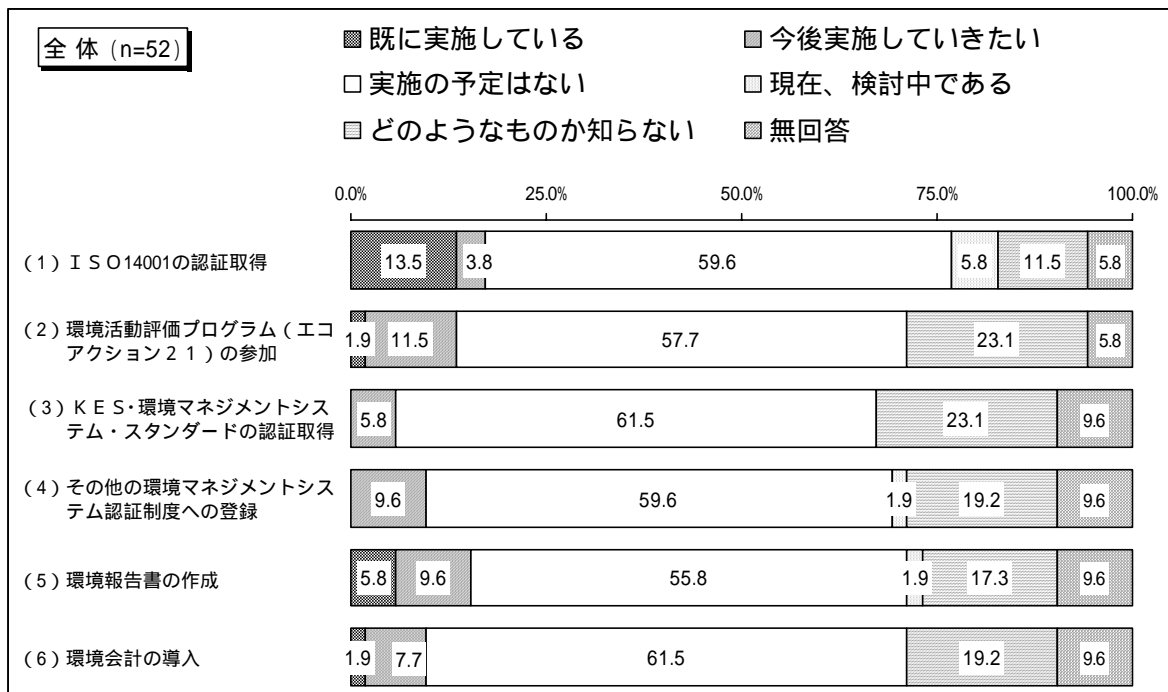
「環境マネジメントシステム」の規格。「環境マネジメントシステム」とは、企業等の経営に当たって環境への負荷を管理・低減するための仕組み。環境マネジメントシステムには国際規格 ISO14001 があるが、中小企業には経費負担や内容の高度さなどが障害となって認証取得が困難であることから、より分かりやすく取り組みやすい規格として誕生したのが KES。

環境報告書

事業所が、最高経営者の緒言、環境保全に関する方針・目標・行動計画、環境マネジメントに関する状況及び環境負荷の低減に向けた取組等についてとりまとめ、公表するものです。

環境会計

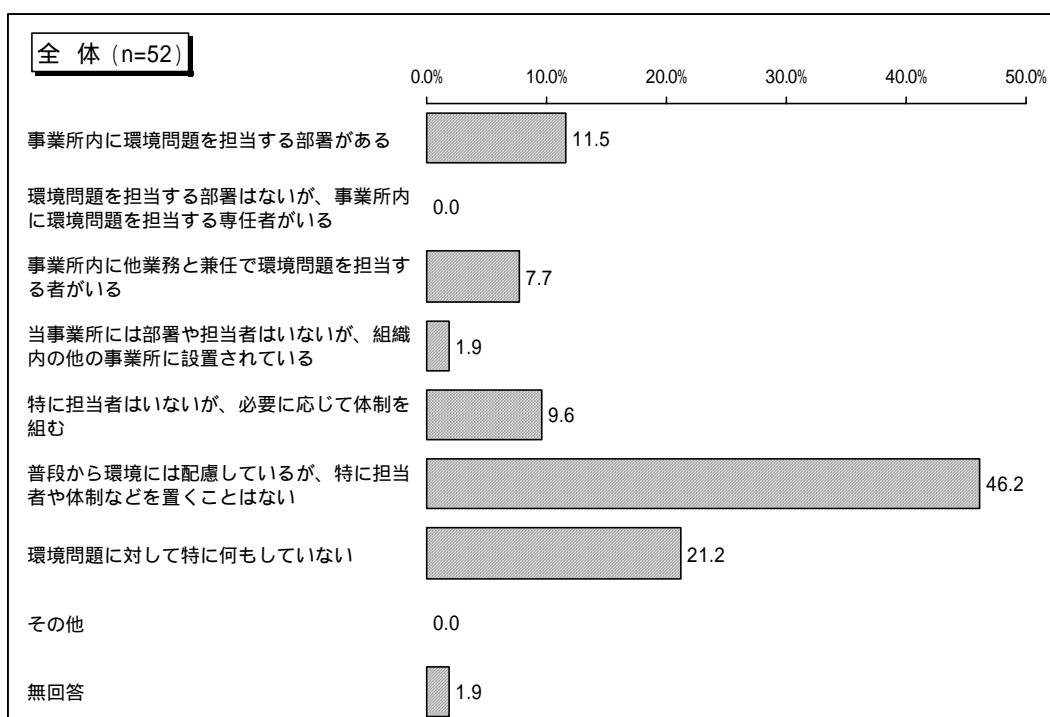
環境保全に対する活動を数値化し、その費用対効果を明らかにする手法。



環境に配慮した経営手法について、回答全体では全ての項目で「実施の予定はない」との回答が過半数を越えています。しかし、「どのようなものか知らない」との回答が2割前後（11.5～23.1%）あることは、これらの経営手法の内容・意味や必要性について理解が深まれば、取組が進む可能性があります。

問 11 貴事業所ではどのような体制で環境保全に取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

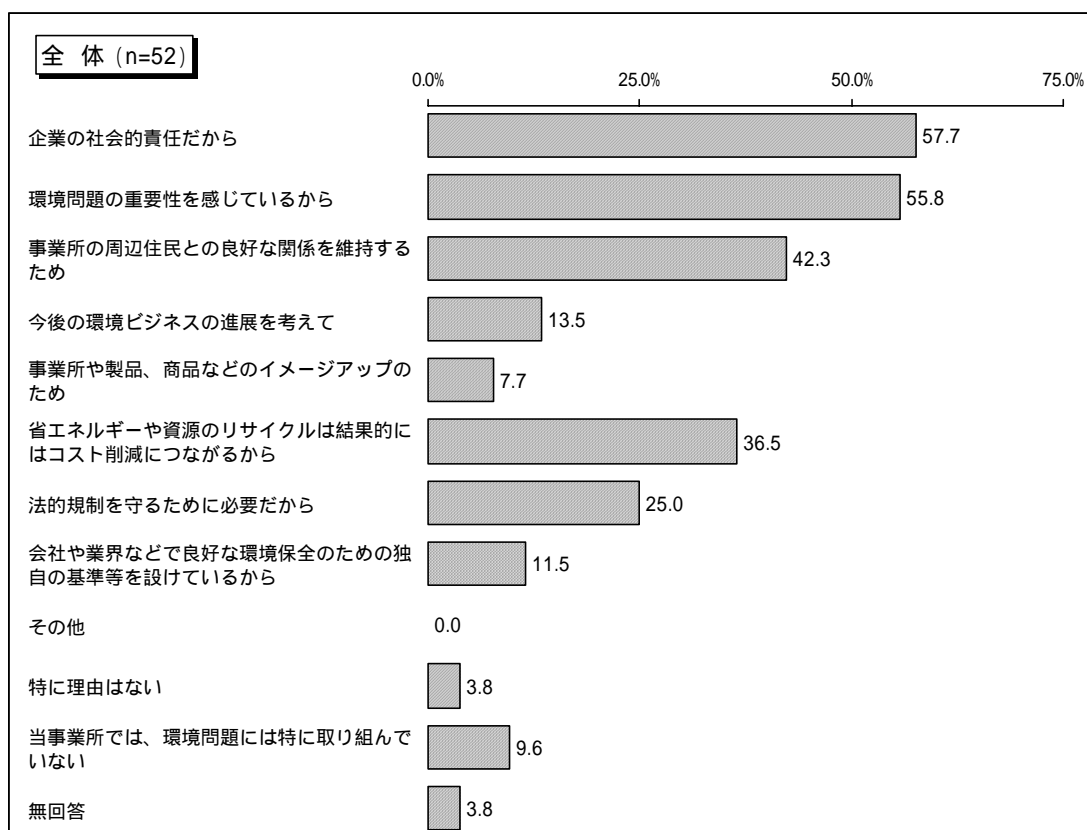
- 1 . 事務所に環境問題を担当する部署がある
- 2 . 環境問題を担当する部署はないが、事業所に環境問題を担当する専任者がいる
- 3 . 事務所に他業務と兼任で環境問題を担当する者がいる
- 4 . 当事業所には部署や担当者はいないが、組織内の他の事業所に設置されている
- 5 . 特に担当者はいないが、必要に応じて体制を組む
- 6 . 普段から環境には配慮しているが、特に担当者や体制などを置くことはない
- 7 . 環境問題に対して特に何もしていない
- 8 . その他 ()



環境保全の取組み体制について、回答全体では「普段から環境には配慮しているが、特に担当者や体制などを置くことはない」との回答が 46.2%と最も多くなっています。これに次いで「環境問題に対して特に何もしていない」との回答が 21.2%に達している点に関しては、今後の環境教育・環境学習の必要性も含めて、検討すべき課題であると考えられます。

問 12 貴事業所が環境保全に取り組む場合、その理由は何ですか。お考えに近いものをすべて選んで、をつけてください。

1. 企業の社会的責任だから
2. 環境問題の重要性を感じているから
3. 事業所の周辺住民との良好な関係を維持するため
4. 今後の環境ビジネスの進展を考えて
5. 事業所や製品、商品などのイメージアップのため
6. 省エネルギーや資源のリサイクルは結果的にはコスト削減につながるから
7. 法的規制を守るために必要だから
8. 会社や業界などで良好な環境保全のための独自の基準等を設けているから
9. その他()
10. 特に理由はない
11. 当事業所では、環境問題には特に取り組んでいない



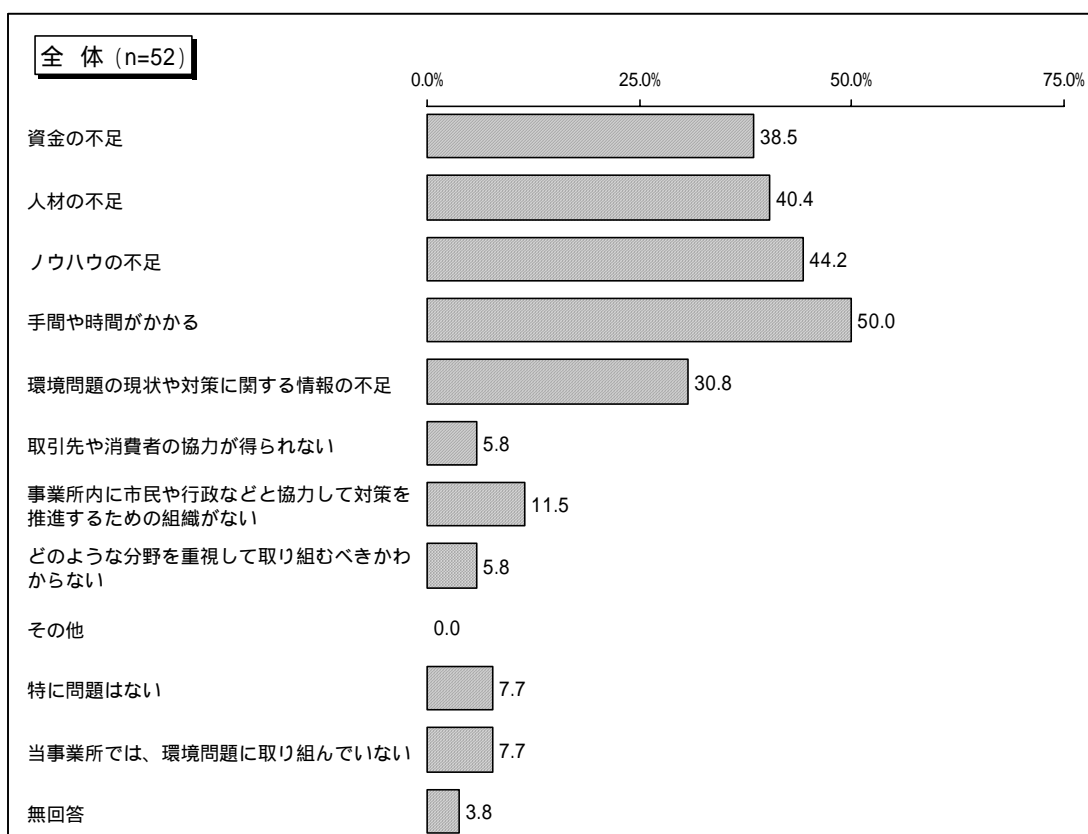
回答全体としては、環境保全に取り組む場合の理由について「企業の社会的責任だから」との回答が 57.7%と最も多く、次いで「環境問題の重要性を感じているから」(55.8%)、「事業所の周辺住民との良好な関係を維持するため」(42.3%)の順となっています。

企業の社会的役割として、公害防止協定の締結などによる環境への負荷軽減が地域住民

の理解を得るだけでなく合意形成につながり、ひいてはそれが企業の信頼性の向上につながるなど、環境の保全が企業経営上の重要な課題となりつつあることを現しているとも考えられます。

問 13 貴事業所が、環境問題への取組を進める上で、どのようなことが問題になっていますか。問題となっていることをすべて選んで、をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1. 資金の不足 | 2. 人材の不足 |
| 3. ノウハウの不足 | 4. 手間や時間がかかる |
| 5. 環境問題の現状や対策に関する情報の不足 | |
| 6. 取引先や消費者の協力が得られない | |
| 7. 事業所内に市民や行政などと協力して対策を推進するための組織がない | |
| 8. どのような分野を重視して取り組むべきかわからない | |
| 9. その他() | |
| 10. 特に問題はない | |
| 11. 当事業所では、環境問題に取り組んでいない | |

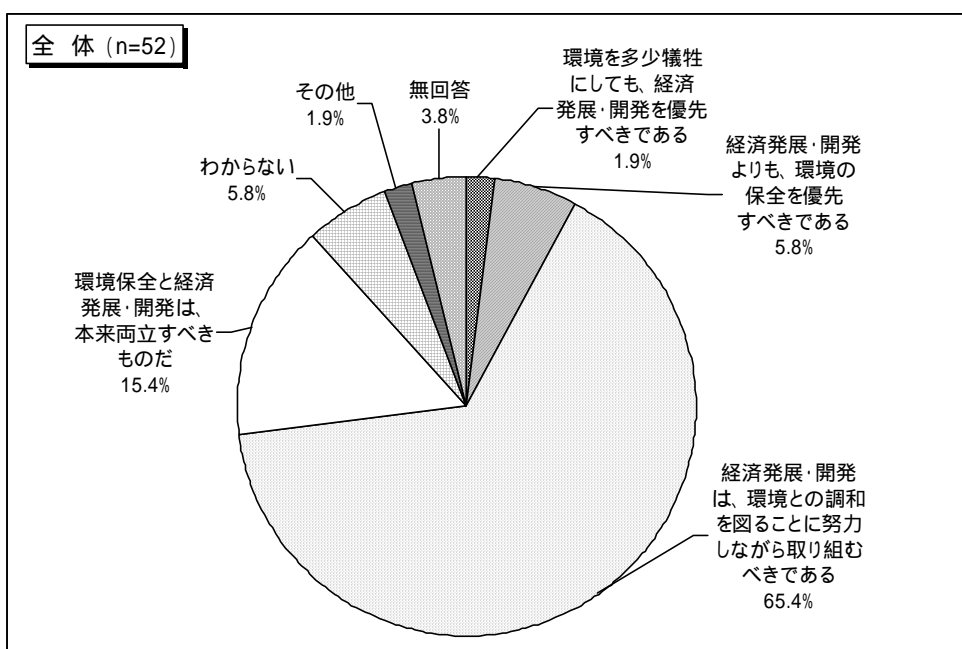


環境問題への取組を進める上での問題について、回答全体では「手間や時間がかかる」との回答が 50.0%と最も多く、次いで、「ノウハウの不足」(44.2%)、「人材の不足」(40.4%)、「資金の不足」(38.5%)の順となっています。

全体的な傾向として、「資金不足」、「手間や時間がかかる」など経営面での問題と、人材不足、ノウハウ不足、情報不足などソフト面での問題があることがわかります。

問 14 貴事業所では、環境を保全することと、経済発展や開発との関係について、どのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

1. 環境を多少犠牲にしても、経済発展・開発を優先すべきである
2. 経済発展・開発よりも、環境の保全を優先すべきである
3. 経済発展・開発は、環境との調和を図ることに努力しながら取り組むべきである
4. 環境保全と経済発展・開発は、本来両立すべきものだ
5. わからない
6. その他()



環境の保全と経済発展・開発との関係について、回答全体では「経済発展・開発は、環境との調和を図ることに努力しながら取り組むべきである」との回答が65.4%と過半数に達しています。

また、環境の保全に対する肯定的な考え方として、「経済発展・開発よりも、環境の保全を優先すべきである」から「環境保全と経済発展・開発は、本来両立すべきものだ」まで含めると、86.6%を占めています。

問 15 貴事業所では、環境問題に関する情報を十分に得ていると思いますか。また、どのような情報が不足していると思いますか。

：貴事業所では、環境問題に関する情報を十分に得ていると思いますか。

あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

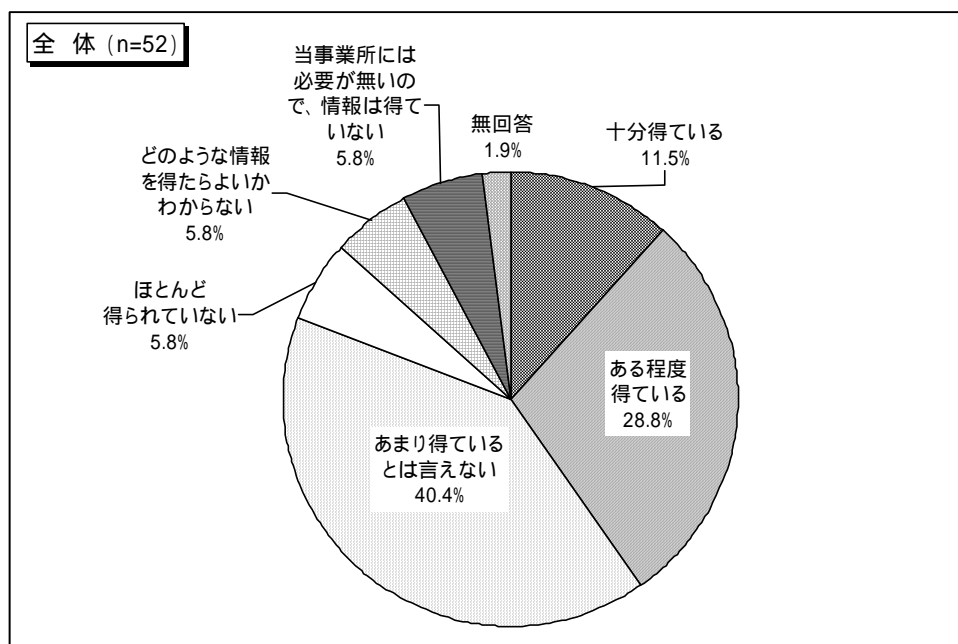
- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 十分得ている | 2. ある程度得ている |
| 3. あまり得ているとは言えない | 4. ほとんど得られていない |
| 5. どのような情報を得たらよいかわからない | |
| 6. 当事業所には必要が無いので、情報は得ていない | |

：(で選択肢の2～4を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問 16 へ進んでください。)

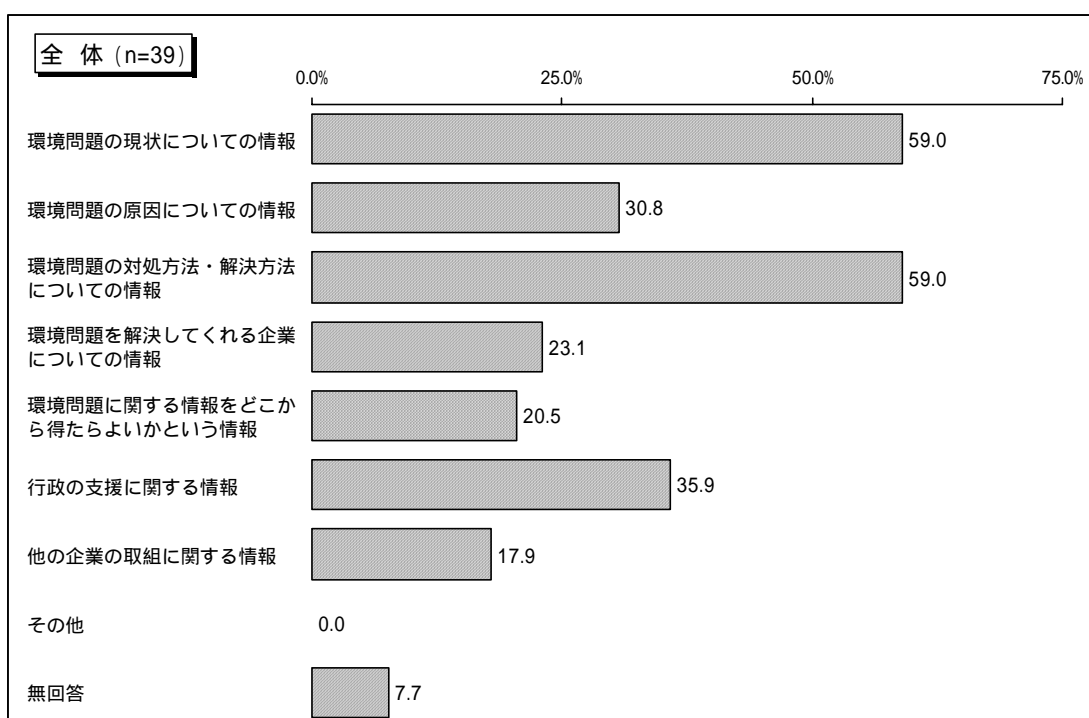
環境問題に関する情報において、どのような情報が不足していると思いますか。

あてはまるものすべてを選んで、をつけてください。

1. 環境問題の現状についての情報
2. 環境問題の原因についての情報
3. 環境問題の対処方法・解決方法についての情報
4. 環境問題を解決してくれる企業についての情報
5. 環境問題に関する情報をどこから得たらよいかという情報
6. 行政の支援に関する情報
7. 他の企業の取組みに関する情報
8. その他 ()



環境問題に関する情報について、回答全体では「あまり得ているとは言えない」との回答が40.4%と最も高く、次いで、「ある程度得ている」との回答が28.8%となっています。また、情報を欲していても「あまり得ているとは言えない」、「ほとんど得られていない」、「どのような情報を得たらよいかわからない」と十分得られていない回答を合わせると、52%に達することから、環境情報の一方的な提供だけでなく関係者の意見交換を含めた、いわゆる環境コミュニケーションの充実など、環境情報を得る場と機会の創出が課題であるといえます。



環境問題に関して不足している情報について、回答全体では「環境問題の現状についての情報」、「環境問題の対処方法・解決方法についての情報」が59.0%と最も高く、次いで、「行政の支援に関する情報」(35.9%)、「環境問題の原因についての情報」(30.8%)の順で高くなっています。

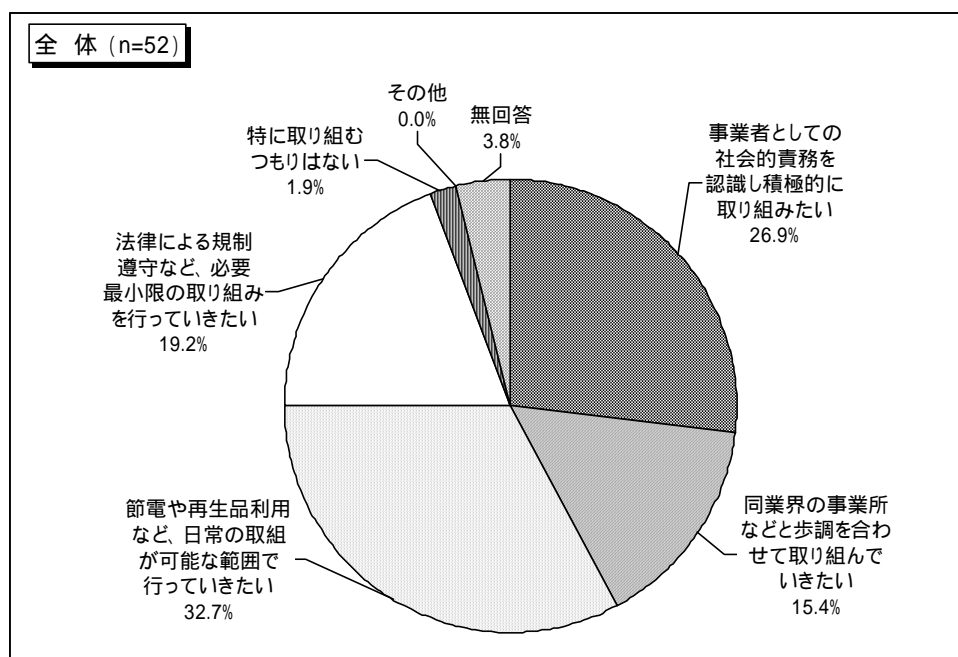
このように、全体的な傾向としては、現状と対処方法・解決方法などの基礎的かつ具体策の情報についての要望が多くなっています。

地区別では、上述の4種類の情報のいずれについても、旧村松町の事業所での回答が若干多くなっています。

5. 貴事業所が今後、環境問題に取り組まれるにあたってのご意向について、おたずねします。

問 16 貴事業所では今後、環境問題に関して、どのように取り組んでいきたいと考えていますか。貴事業所のお考えに最も近いものを1つ選んで、をつけてください。

1. 事業者としての社会的責務を認識し積極的に取り組みたい
2. 同業界の事業所などと歩調を合わせて取り組んでいきたい
3. 節電や再生品利用など、日常の取組が可能な範囲で行っていききたい
4. 法律による規制遵守など、必要最小限の取組を行っていききたい
5. 特に取り組むつもりはない
6. その他 ()

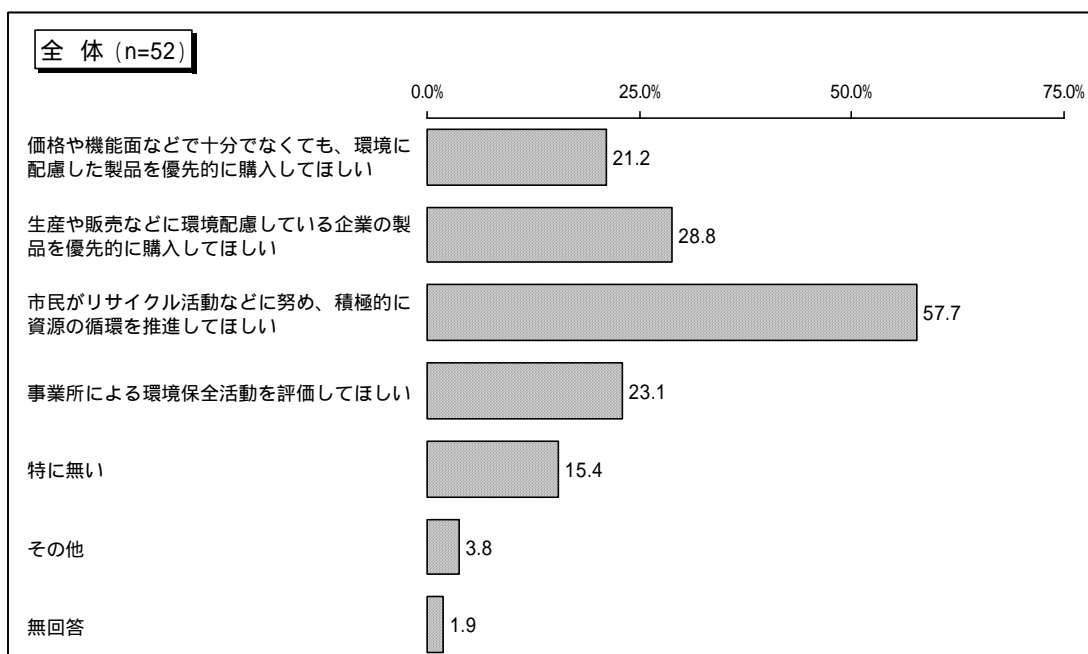


環境問題に関して今後どのように取り組んでいくかについて、回答全体では「節電や再生品利用など、日常の取組が可能な範囲で行っていききたい」との回答が 32.7%と最も多く、次いで、「事業者としての社会的責務を認識し積極的に取り組みたい」との回答が 26.9%となっています。この結果から、程度の差はあるものの、ほとんどの事業者が何らかの形で環境問題に取り組んでいこうという前向きな姿勢がうかがえます。

地区別では、「同業界の事業所などと歩調を合わせて取り組んでいきたい」について、旧五泉市の事業所では若干多い回答がありました。

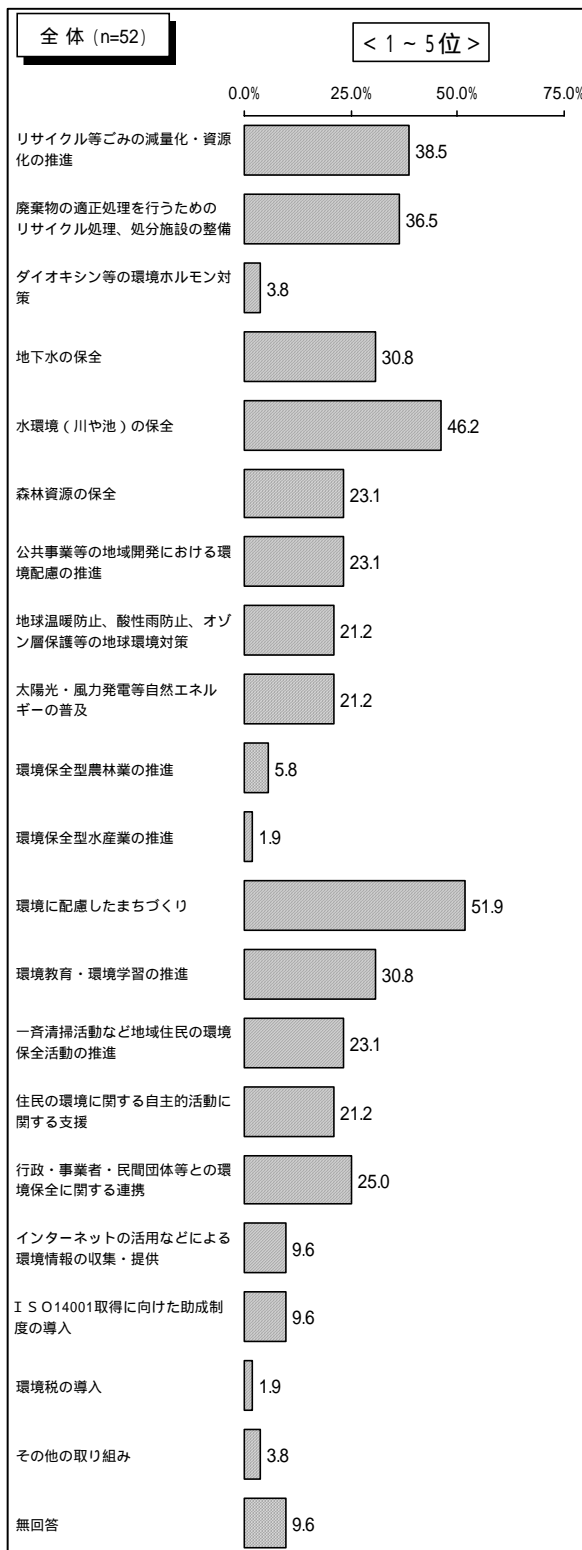
問 17 環境問題に関する取り組みを進めるため、市民に求めたいことはありますか。貴事業所の
お考えに近いものを2つまで選んで、をつけてください。

- 1 . 価格や機能面などで十分でなくても、環境に配慮した製品を優先的に購入してほしい
- 2 . 生産や販売などに環境配慮している企業の製品を優先的に購入してほしい
- 3 . 市民がリサイクル活動などに努め、積極的に資源の循環を推進してほしい
- 4 . 事業所による環境保全活動を評価してほしい
- 5 . 特に無い
- 6 . その他 ()



環境問題に関する取り組みを進めるため、市民に求めたいことについて、回答全体では「市民がリサイクル活動などに努め、積極的に資源の循環を推進してほしい」との回答が57.7%と最も多く、次いで「生産や販売などに環境配慮している企業の製品を優先的に購入してほしい」との回答が28.8%となっています。

このように、事業者と市民の関係を生産者と消費者という関係よりも、協働のパートナーとして捉えているものと考えられ、市民への協力が求められています。



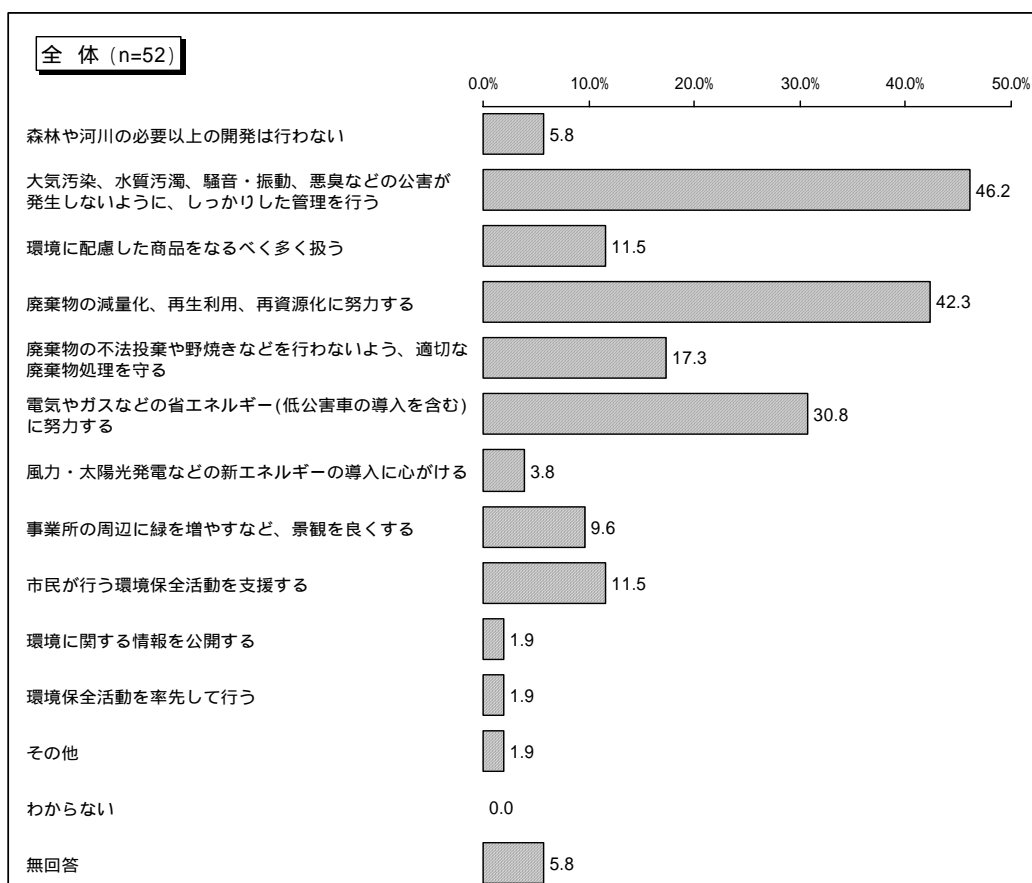
回答全体として、これまでの公害防止や廃棄物処理等の環境行政の他に、行政に優先的に取り組んで欲しいものについて、「環境に配慮したまちづくり」との回答が 51.9%と最も高く、次いで、「水環境(川や池)の保全」(46.2%)、「リサイクル等ごみの減量化・資源化の推進」(38.5%)、「廃棄物の適正処理を行うためのリサイクル処理・処分施設の整備」(36.5%)の順となっています。

このように、行政に対する要望として、住民の生活に直結した“まちづくり”のほか、市民アンケートでも回答の多かった水環境や、ごみとリサイクルに関する事項について多くの回答を得ています。

一方、事業活動と関係の深い ISO14001、環境税、産業の育成についての回答が比較的少なくなっていますが、今後事業者の環境面での社会的役割の増大に伴って、これらの取組の重要性が高くなっていくものと考えられます。

問 19 貴事業所が環境保全のために事業者として行うべきものと考えられることは何ですか。あてはまるものを2つまで選んでをつけてください。

1. 森林や河川の必要以上の開発は行わない
2. 大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの公害が発生しないように、しっかりした管理を行う
3. 環境に配慮した商品をなるべく多く扱う
4. 廃棄物の減量化、再生利用、再資源化に努力する
5. 廃棄物の不法投棄や野焼きなどを行わないよう、適切な廃棄物処理を守る
6. 電気やガスなどの省エネルギー（低公害車の導入を含む）に努力する
7. 風力・太陽光発電などの新エネルギーの導入に心がける
8. 事業所の周辺に緑を増やすなど、景観を良くする
9. 市民が行う環境保全活動を支援する
10. 環境に関する情報を公開する
11. 環境保全活動を率先して行う
12. その他（)
13. わからない



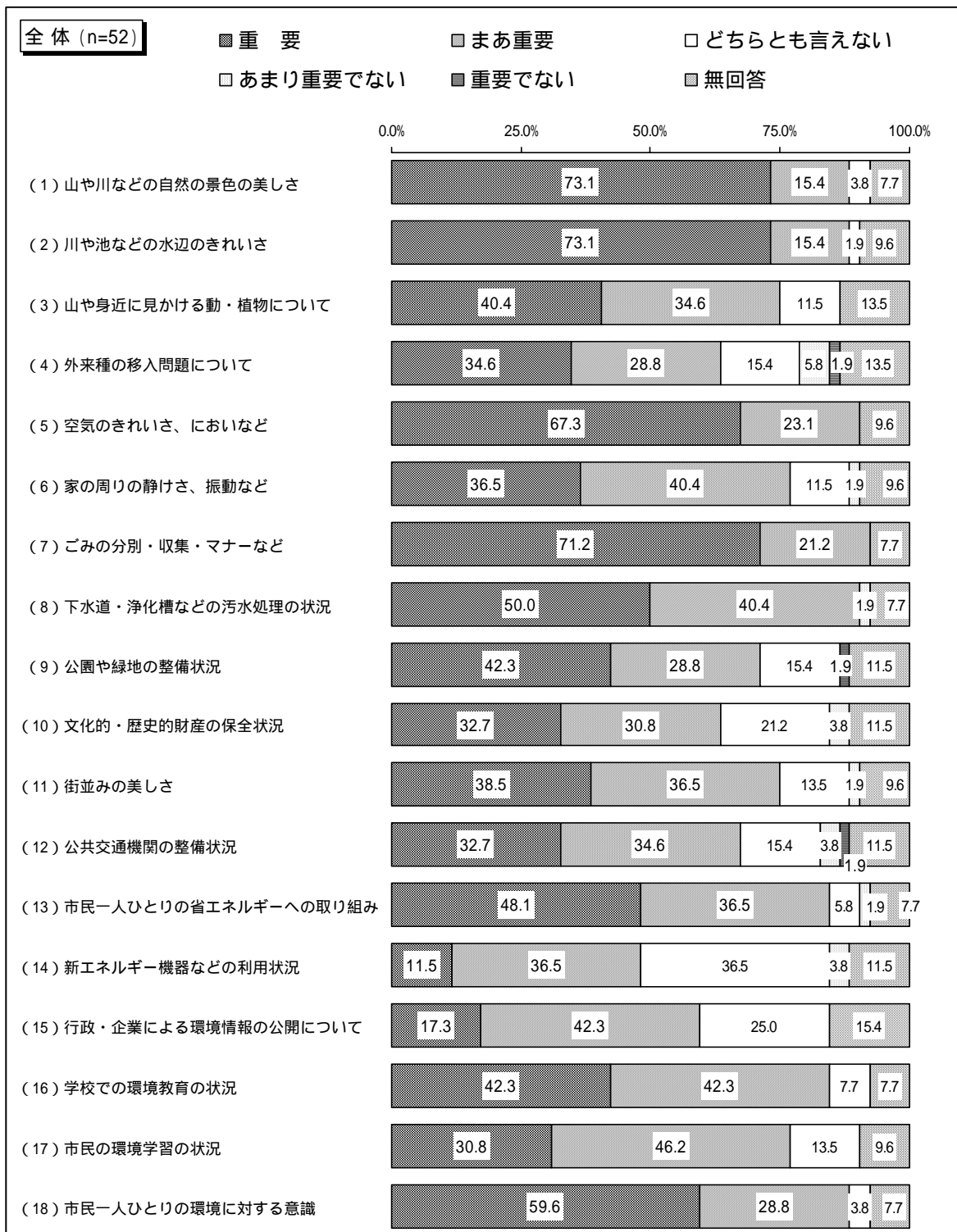
環境保全のために事業者として行うべきことについて、回答全体では「大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの公害が発生しないように、しっかりした管理を行う」との回答が46.2%と最も多く、次いで「廃棄物の減量化、再生利用、再資源化に努力する」との回答が42.3%となっています。事業活動によって生じる環境への負荷の軽減が最も重要であるとの認識がうかがえます。

地区別では、旧五泉市の事業所で「大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの公害が発生しないように、しっかりした管理を行う」についての回答が若干多くなっており、旧村松町の事業所では「廃棄物の不法投棄や野焼きなどを行わないよう、適切な廃棄物処理を守る」と「市民が行う環境保全活動を支援する」との回答が若干多く、市民との協働の意識がより高くなっています。

6. 今後の五泉市の望ましい環境についておたずねします。

問 20 将来の世代に良い環境を残し、受け継いでいくために、どのような取組や施策を重点的に取り組むべきだと考えますか。それぞれの取組について、あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

	重要	まあ重要	どちらでもない	でもない重要	重要でない
1. 山や川などの自然の景色の美しさ	1	2	3	4	5
2. 川や池などの水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
3. 山や身近に見かける動・植物について	1	2	3	4	5
4. 外来種の移入問題について	1	2	3	4	5
5. 空気のきれいさ、においなど	1	2	3	4	5
6. 家の周りの静けさ、振動など	1	2	3	4	5
7. ごみの分別・収集・マナーなど	1	2	3	4	5
8. 下水道・浄化槽などの汚水処理の状況	1	2	3	4	5
9. 公園や緑地の整備状況	1	2	3	4	5
10. 文化的・歴史的財産の保全状況	1	2	3	4	5
11. 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
12. 公共交通機関の整備状況	1	2	3	4	5
13. 市民一人ひとりの省エネルギーへの取り組み	1	2	3	4	5
14. 新エネルギー機器などの利用状況	1	2	3	4	5
15. 行政・企業による環境情報の公開について	1	2	3	4	5
16. 学校での環境教育の状況	1	2	3	4	5
17. 市民の環境学習の状況	1	2	3	4	5
18. 市民一人ひとりの環境に対する意識	1	2	3	4	5



最初に、ここでは、設問項目 1～18 までの各項目に関して、市民アンケート調査における分析内容と照合して、次のように分類するとします。

- ・自然環境：1)「山や川などの自然の景色の美しさ」～4)「外来種の移入問題について」
- ・生活環境：5)「空気のきれいさ、においなど」～7)「ごみの分別・収集・マナーなど」
- ・社会環境：8)「下水道・浄化槽などの汚水処理の状況」～12)「公共交通機関の整備状況」
- ・地球環境：13)「市民一人ひとりの省エネルギーへの取り組み」
～14)「新エネルギー機器などの利用状況」
- ・その他：15)「行政・企業による環境情報の公開について」
～18)「市民一人一人の環境に対する意識」

将来の世代に良い環境を残し、受け継いでいくために、どのような取組や施策を重点的に取り組むべきかについて、回答全体では「重要」との回答が、「山や川などの自然の景色の美しさ」、「川や池などの水辺の美しさ」が73.1%と最も高く、次いで、「ごみの分別・収集・マナー」(71.2%)、「空気のきれいさ、においなど」(67.3%)の順となっています。

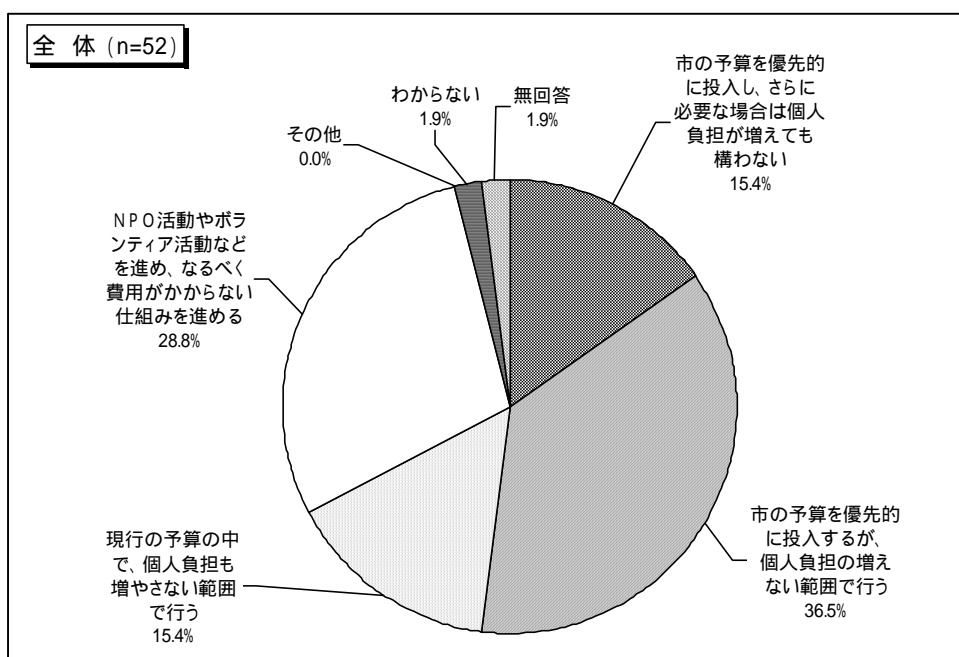
このように、自然環境や水辺の快適さに関する取組や施策の重要性を挙げる回答が多く、廃棄物に関連したものがこれに次ぐ結果となっています。

本問に関しては、市民を対象としたアンケート調査においても同様の設問を行いました。その結果から「重要」との回答を比較すると、景色の美しさや水辺のきれいさなどの自然環境に対する取組や施策の重要性については、事業者の回答率がより高くなっています。また、事業者では「市民一人ひとりの省エネルギーへの取り組み」、「市民一人ひとりの環境に対する意識」との回答が若干多くなっていますが、これと対照的に、市民では「公共交通機関の整備状況」、「行政・企業による環境情報の公開について」が多くなっており、事業者は市民の意識や取組に、また市民は行政や事業者の取組・施策に、それぞれ高い期待を寄せている様子がうかがえます。

地区別では、旧村松町の事業所で「山や身近に見かける動・植物について」、「空気のきれいさ、においなど」、「家の周りの静けさ、振動など」、「文化的・歴史的財産の保全状況」、「街並みの美しさ」、「公共交通機関の整備状況」、「市民一人ひとりの省エネルギーへの取組」、「新エネルギー機器などの利用状況」について、「重要」との回答が旧五泉市の事業所よりも若干多くなっていますが、特に自然環境や生活環境の市民と共通する分野において、旧村松町の事業所での関心の高さがうかがえます。

問 21 貴事業所は環境保全のための費用についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてお答えください

- 1 . 市の予算を優先的に投入し、さらに必要な場合は個人負担が増えても構わない
- 2 . 市の予算を優先的に投入するが、個人負担の増えない範囲で行う
- 3 . 現行の予算の中で、個人負担も増やさない範囲で行う
- 4 . NPO活動やボランティア活動などを進め、なるべく費用がかからない仕組みを進める
- 5 . その他 ()
- 6 . わからない



環境保全のための費用について、回答全体では「市の予算を優先的に投入するが、個人負担の増えない範囲で行う」との回答が 36.5%と最も多く、次いで、「NPO活動やボランティア活動などを進め、なるべく費用がかからない仕組みを進める」との回答が 28.8%となっています。

51.9%の事業所が、優先的に市の予算を投入する意向を示していますが、個人負担が増加する点に関しては、80.7%の事業所から否定的な回答を得ました。

本問に関しては、市民を対象としたアンケート調査においても同様の設問を行いました。優先的に市予算を投入する意向に関しては、市民（34.8%）よりも事業所の方で回答率が高くなっていますが、個人負担が増加する点に関して好ましくないとする回答は、市民と大差が無い結果となっています。

問 22 環境問題全般について、ご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。

景観条例の制定。 街並み保存地区の指定。(五泉地区・サービス業)

公園など立派な施設は出来るが、ランニングコストなどを考えないためか、節約との事でせつかくの噴水も止められ、還流されるべき水も流されておらず、樹木などの手入れも雑草などの(除草)も伸び放題と整備に問題あり。 下水道設備は整備されても、本管に接続するための料金、まあ下水道利用料金が高いとの事で、利用されていない地域(本町)などが非常に多い。強制的には問題ありか、環境設備は整っていても利用されないのはどこに問題があるのかと思えるが如何か?(五泉地区・製造業)

市の税金を有効に使って欲しいと思います。(五泉地区・製造業)

市街地に老朽化して危険な管理者不在の多くの建物が見受けられます。台風等が接近すれば、必ず近隣の住民をはじめ通行者の危険が予想されます。早急の対応をお願い致します。(五泉地区・建設業)

各種団体バラバラに行うのではなく、年1度でもいいから環境デーを設置して、一斉にゴミ拾い、その他イベントを行って、市民全体に呼びかける機会を作って欲しい。地区ごとに競わせて表彰などを行う。全国にアピールする企画を実行する。(村松地区・サービス業)

消雪パイプに代わる新しい融雪(ロードヒーティング等)の必要性。(村松地区・サービス業)

市内外の他企業の取組や、実際の活動状況について知りたい。発表会などがあれば良い。(大蒲原地区・製造業)

